

令和7年度入学試験問題（後期日程）

小論文

初等教育教員養成課程 小学校教育専攻プログラム

解答例

（問1）

女性の地位がもともと高いところであれば、女性の政治家が多く、福祉政策も充実していると考えられる。つまり、本当の原因は人々の意識の高さであり、女性の政治家の多さではないかもしれないから。（92文字）

（問2）

私は学校教育でエビデンスを重視することに賛成である。一例として、アクティブラーニングの有効性を取り上げる。アクティブラーニングを取り入れたことで、子どもたちの学力がさらに高まったという話をよく聞く。しかし、アクティブラーニングを取り入れることができる学校は、教員が新しいことに積極的であったり、あるいは子どもたち自身が新しいことに挑戦できる力をもともと持っていたりする可能性が高い。つまり、アクティブラーニングを取り入れたから学力が高まったのではなく、もともと学力が高まる要素を持っている学校がアクティブラーニングを取り入れやすいだけかもしれない。仮にそうだとすれば、アクティブラーニングを取り入れても学力が高まるとは限らず、アクティブラーニングを受け入れる土壌のない学校では混乱が生じるだろう。これは教員や子どもにとってマイナスである。流行に踊らされることなく、エビデンスを踏まえた実践を行いたい。（400字）